

災害時の水の備えについて

災害に備えて備蓄している飲料水は「1日分～3日分」の割合が50.4%と最も高く、次いで「備蓄していない」が36.1%となっています（図4）。

また、目安である7日分以上を備蓄していないかたの理由は、「保管場所がない」が33.8%と最も高くなっています（図5）。

図4 災害に備え水を備蓄する目安は、7日分（1日1人3リットル）となっています。あなたの家では、災害時に利用できる飲料水を何日分備蓄していますか

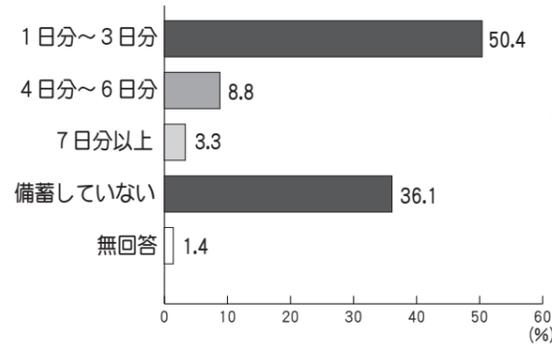
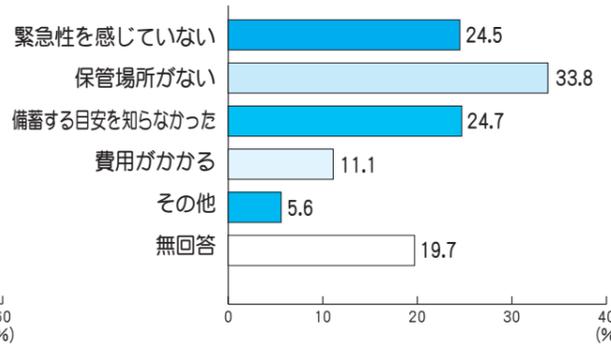


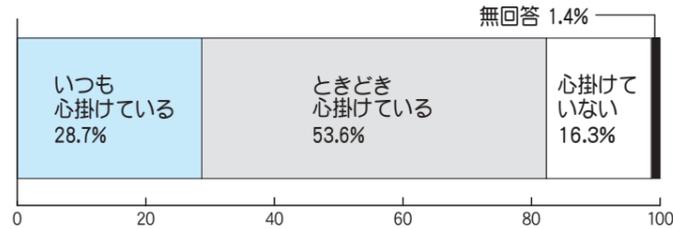
図5 「7日分以上」以外を選択したかたにお聞きします。7日分以上の飲料水の備蓄をしていない理由は何ですか（あてはまるもの全てを選択）



健康維持・増進について

健康維持・増進のために体を動かすことについて、「ときどき心掛けている」の割合が53.6%と最も高く、次いで「いつも心掛けている」が28.7%、「心掛けていない」が16.3%となっています（図6）。

図6 日頃から健康維持・増進のために早歩きや階段を使ったりするなど、意識的に体を動かすように心掛けていますか



第24回市政世論調査 概要

- 目的** 市民生活の実態や市民志向の調査、市政に対する意見・提言の調査を2年に1回行い、データなどの集約・分析によって、現状把握の中から行政施策の立案・実施の基礎資料とする
- 対象** 市内在住の2,500人（平成30年7月1日現在の住民基本台帳から満18歳以上のかたを無作為に抽出）
- 項目・内容** 14項目、選択方式（一部記述式あり）
- 期間** 平成30年8月1日～13日
- 方法** 郵送法
- 結果** 調査人数…2,500人、回答人数…1,352人、回収率…54.1%
※調査結果の数値はそれぞれの項目について小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります

多くの貴重な意見をいただきました。この調査結果をもとに、市の施策が社会環境や市民ニーズに合っているかどうかを判断し、改善していくことで、住みよい稲沢市を目指していきます。調査結果をまとめた冊子は、市役所行政情報コーナー、図書館、市のホームページで閲覧することができます。



市政世論調査 市民のこえ

平成30年8月、市民を対象に市政世論調査を行い、結果をまとめた冊子『第24回市政世論調査 市民のこえ～調査結果のまとめ～』を作成しました。その中から、一部を抜粋して紹介します。

問合せ先 市役所秘書広報課 ☎0587(32)1126

住みやすさについて

稲沢市を住みやすいところだと感じているかについて、「住みやすい」が49.6%、「住みにくい」が13.7%、「どちらともいえない」が36.5%となっています（図1）。前回調査と比べると「住みやすい」は2.5ポイント低い結果となっています（図2）。

居住地区別に見ると、稲沢地区と下津地区で「住みやすい」と感じているかたの割合が高くなっているのに対し、千代田地区では「住みにくい」と感じているかたの割合が他の居住地区と比べて高くなっています（図3）。

図1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか

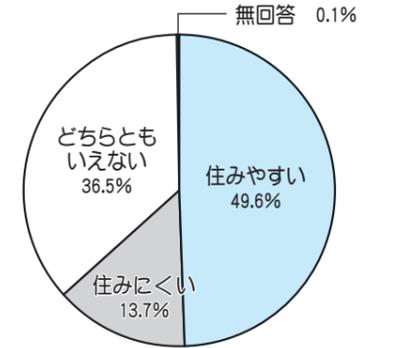


図2 稲沢市を住みやすいところだと感じますか（過去の調査との比較）

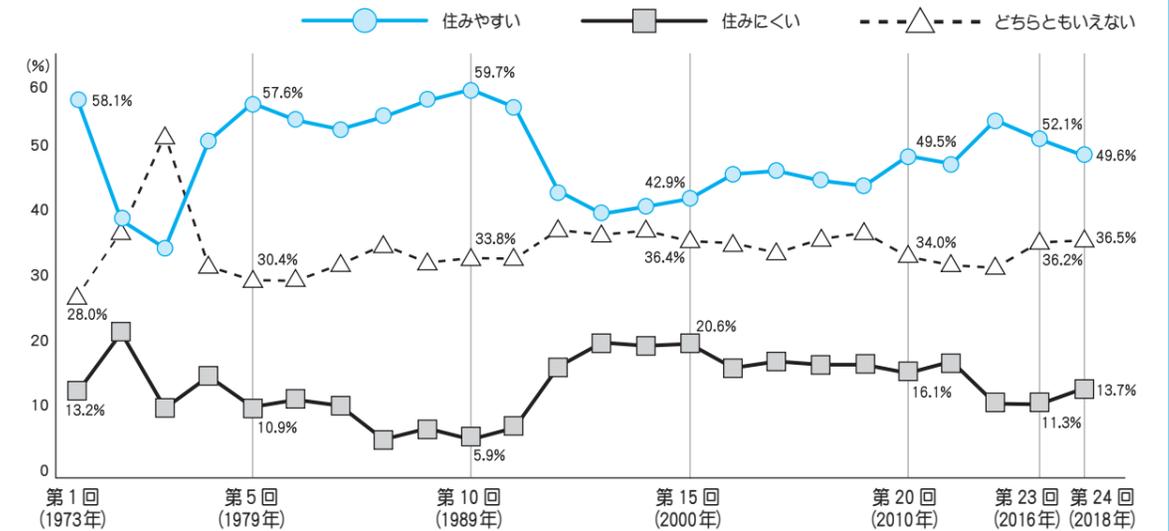


図3 稲沢市を住みやすいところだと感じますか（地区別）

